

令和7年度 学校評価総括表(御所小学校)

1 学校教育目標 「三あい運動(学びあい、喜びあい、励ましあい)」を通して、自他の命を大切に、新たな価値を共創する子どもを育成する。

2 本年度の重点目標

- ①豊かな人間性の育成 ②確かな学力 ③地域への愛着と誇りを育む教育の充実

3 総括表

評価規準 S:大変よくできている(95～100%) A:よくできている(80～94%) B:できている(60～79%) C:努力がいる(40～59%) D:大変努力がいる(0～39%)

領域	評価項目	学校アンケートの結果	評価	次年度への課題等
学校経営及び学校運営	経営方針の明確化とその実践状況	・保護者アンケート「学校は、教育方針を分かりやすく保護者や地域に伝えている」の項目では、「よくあてはまる」40%、「ややあてはまる」52%であった。(肯定的評価92%) ・教職員アンケート「学校教育目標実現に向かって、学校運営がされている」の項目では、「あてはまる」86%、「おおむねあてはまる」14%であった。(肯定的評価100%)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の授業や学校行事をはじめ教育活動全般において、全教職員がベクトルをそろえて教育活動に取り組むことで、学校教育目標の具現化を図る。 ・HP、学校だより、学校運営協議会、PTA役員会等において学校の教育方針の周知を一層図り、保護者や地域の方との協働体制を確立する。 ・教職員一人一人の特性を考慮したうえで、校務分掌を決定するとともに、年度途中であっても適切な修正を加えるなどして、適正化を図る。 ・全教職員で共通理解を図ることで、組織として十分機能し、学校の教育活動が効率よく最大の効果が発揮できるようにする。 目標管理、3部会、学力向上推進プランなどについては、PDCAサイクルを回しながら、今年度の成果と課題を生かして、次年度の取組を進める。 教職員一人一人のキャリアプランやキャリアステージに応じて、資質・能力を身に付けられるよう、研修履歴を活用しながら、対話に基づいて目標や方策を立てたり、受講奨励を行ったりする。 ・定期的な安全点検、危機管理マニュアルの見直し、教職員への周知、訓練の実施を通して安全管理・組織活動の充実を図る。 ・関係機関と連携しながら、施設管理や衛生管理を徹底し、児童が安心して学校生活を送ることができるようにする。 出退勤時刻の記録による自身の働き方の見える化、校務支援システム回覧板の活用や資料・教材の共有による校務の効率化、定時退庁日の設定や勤務間インターバルの確保などによりワークライフバランスを意識した働き方を推進する。
	校務分掌分担の適正化と組織的な活動・運営	・教職員アンケート「校務分掌は公正かつ適正、能力に応じて分担され、意欲的に取り組める環境にある」の項目では、「よくあてはまる」57%、「おおむねあてはまる」36%であった。(肯定的評価93%) ・教職員アンケート「教職員間の話し合いが十分になされ、共通理解に基づいて教育活動が行われている」の項目では、「よくあてはまる」79%、「おおむねあてはまる」14%であった。(肯定的評価93%)	A	
	教職員研修体制の確立と実践	教職員アンケート「校内研修計画に沿って、充実した研修を実施している」の項目では、「よくあてはまる」50%、「おおむねあてはまる」43%であった。(肯定的評価93%)	A	
	教職員の資質向上に向けた取組	教職員アンケート「自らの課題意識により、自己研修に努めている」の項目では、「よくあてはまる」43%「おおむねあてはまる」50%であった。(肯定的評価93%)	A	
	教育環境の安全管理及び整備	・保護者アンケート「学校は、子供の安全対策や健やかな心と体の育成に努めている」の項目では、「よくあてはまる」58%、「ややあてはまる」35%であった。(肯定的評価93%) ・教職員アンケート「事故・事件・災害などに対して、迅速かつ適切な対応ができるように役割が明確にされている」の項目では、「よくあてはまる」79%、「おおむねあてはまる」21%であった。(肯定的評価100%)	A	
	働き方改革	教職員アンケート「勤務時間を意識し、業務を効率的に行えるように努めている」の項目では、「よくあてはまる」29%、「おおむねあてはまる」36%であった。(肯定的評価65%)	B	
教育活動	確かな学力(学習指導)	・保護者アンケート「学校は、子供が楽しく学べるために『分かる』授業に努めている」の項目では、「よくあてはまる」46%、「ややあてはまる」42%であった。(肯定的評価88%) ・教職員アンケート「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行い、よく分かる授業に努めている」の項目では、「よくあてはまる」42%、「おおむねあてはまる」58%であった。(肯定的評価100%)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ることで、学びの質を向上させ、各児童の可能性を伸ばし、多様性を育む。 ・「わが家の学習のルール」「メディアコントロールデー」などの取組を一層推進し、家庭学習の充実を図る。 ・保護者の気持ちをしっかりと受け止め寄り添うとともに、スピード感をもって対応し、事実を正確に伝えることで信頼関係を築いていく。 ・報告・連絡・相談を徹底し、教職員全員の共通理解のもと、生徒指導にあたる。 ・発達支持的生徒指導の観点から、ポジティブな行動支援に取り組み、望ましい行動を身に付けられるようにする。 ・集会活動やなかよし班活動(異学年交流)、GIグランプリ(児童発案のかくし芸大会)など豊かな体験活動を充実させる。 ・人権や道徳の授業を充実させ、指導内容が子供の日常生活に生かされるようにする。 ・互いを認め合い支え合う学級集団づくりを行い、いじめの防止に取り組む。 ・体力づくりについては、なわとびや持久走をはじめ、年間を通じて計画・実施し、児童一人一人の体力向上を目指す。 ・安全教育(防災・防犯)については、地域や関係諸機関と連携し、学校や地域の実態に応じて、適切にかつ計画的に避難訓練を実施する。 ・個別の支援計画や指導計画を作成し、校内委員会を開催して子供の実態や支援内容を共通理解することで、適切な支援につなげる。 ・専門機関や関係機関との連携、保護者との教育相談を通して、特別支援教育の充実を図る。
	生徒指導	・保護者アンケート「学校は、保護者からの連絡や相談に、迅速かつ適切に対応している」の項目では、「よくあてはまる」64%、「ややあてはまる」33%であった。(肯定的評価97%) ・教職員アンケート「深い児童理解に努め、全教職員の共通理解のもと、チームで生徒指導に取り組んでいる」の項目では、「よくあてはまる」54%、「おおむねあてはまる」46%であった。(肯定的評価100%)	S	
	心の教育(人権教育)	・保護者アンケート「学校は、人権教育・道徳教育に取り組んでおり、自分や周りの人を大切にできる子供の育成に努めている」の項目では、「よくあてはまる」45%、「ややあてはまる」47%であった。(肯定的評価92%) ・教職員アンケート「全教育活動において人権感覚を磨き、態度化・行動化にまで高まるよう努めている」の項目では、「よくあてはまる」33%「おおむねあてはまる」67%であった。(肯定的評価100%)	A	
	健康・安全教育(体力づくり)	・保護者アンケート「お子様は、毎日朝食を食べて登校し、健康管理や体力づくりができている」の項目では、「よくあてはまる」59%、「ややあてはまる」36%であった。(肯定的評価95%) ・教職員アンケート「保健・安全教育を充実させ、健康で安全な生活を営む力を育成するよう努めている」の項目では、「よくあてはまる」31%、「おおむねあてはまる」54%であった。(肯定的評価85%)	A	
	特別支援教育	・保護者アンケート「学校は、子供のことを理解するように努めており、子供のことについて相談しやすい」の項目では、「よくあてはまる」46%、「ややあてはまる」43%であった。(肯定的評価89%) ・教職員アンケート「特別な支援を必要とする児童への校内支援体制が整備されている」の項目では、「よくあてはまる」38%、「おおむねあてはまる」62%であった。(肯定的評価100%)	A	
保護者・地域との連携	情報発信及び地域とともにある学校づくり	・保護者アンケート「学校は、学級(学校)の様子や学習内容などを通信やホームページ等でよく知らせている」の項目では、「よくあてはまる」50%、「ややあてはまる」37%であった。(肯定的評価87%) ・教職員アンケート「学校公開や情報発信に努めている(参観授業、たより、ホームページなど)」の項目では、「よくあてはまる」36%、「おおむねあてはまる」64%であった。(肯定的評価100%)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・学年だより、HP、PTA役員会、学校運営協議会等、様々な場と機会をとらえて、情報を発信する。 ・マチコメールを活用し、緊急時においても正確な情報がスムーズに周知できるよう努める。 今後もPTA役員会や学校運営協議会での協議を踏まえ、子供たちのよりよい成長のために、保護者や地域の方々との連携を図りながら、学校教育の充実を図る。 引き続き、地域の諸団体との連携や外部講師の招聘、交流学习などを推進することで、体験活動を充実させ、教育活動の質の向上を図る。 地域の実態に応じた体験的な活動を計画的に実施し、事前・事後学習の充実を図り、感謝の気持ちやふるさとへの愛着と誇りを育む教育を推進する。
	PTA活動の活性化	・保護者アンケート「学校は、保護者や地域の願いにこたえ、連携して教育活動を行っている」の項目では、「よくあてはまる」34%、「ややあてはまる」53%であった。(肯定的評価87%) ・教職員アンケート「学校や児童の様子を積極的に保護者や地域に知らせ、連携をとって児童の成長を支援している」の項目では、「よくあてはまる」50%、「おおむねあてはまる」50%であった。(肯定的評価100%)	A	
	地域の人材や外部講師の活用	・保護者アンケート「学校は、児童が仲良く学びあい・喜びあい・励ましあうことができるよう、なかよし班活動(異学年交流)や体験活動の充実努めている」の項目では、「あてはまる」61%、「ややあてはまる」35%であった。(肯定的評価96%) ・教職員アンケート「地域や関係諸機関や諸団体との連携を図り、教育効果を挙げている(交流学习、ゲストティーチャーなど)」の項目では、「よくあてはまる」50%、「おおむねあてはまる」50%であった。(肯定的評価100%)	S	
	地域行事やボランティア活動への参加	・保護者アンケート「学校は、ふるさと御所への愛着と誇りを育む教育に取り組んでいる」の項目では、「よくあてはまる」58%、「ややあてはまる」35%であった。(肯定的評価93%) ・教職員アンケート「体験活動を重視し、感謝の心を育むよう実践している」の項目では、「よくあてはまる」42%、「おおむねあてはまる」58%であった。(肯定的評価100%)	A	

4 学校関係者評価(学校運営協議会委員の意見)

・学校運営が適正に行われている。今後とも、児童の健全な育成に向け、地域と連携を図りながらすばらしい学校をつくってほしい。 ・通学時のあいさつがもっとできるようになってほしい。

・働き方改革については、仕事内容の整理と先生方の意識がポイントであると思う。 ・学校運営協議会が学校やPTAと連携して教育委員会等に意見を上げ、よりよい学校運営や学校の課題解決に寄与していければと思う。

5 総合評価

学校アンケート(保護者・教職員対象)の結果は、肯定的評価の割合が全体的に高かった。今後も学校教育目標の実現を目指し、学習指導や生徒指導、心の教育のさらなる充実を図りながら、児童一人一人がよりよく成長し、ウェルビーイングが向上するよう、組織的・継続的に取り組んでいく。そのためには、学校だけではなく、家庭・地域との連携を一層充実させ、三者の協働体制で子供を育てる、方針や取組を発信し共有するという視点を大切にしながら、教育活動を推進してまいりたい。